



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社 True Data 上場取引所 東
コード番号 4416 URL <https://www.truedata.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米倉 裕之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 児玉 英樹 (TEL) 03-6430-0721
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,132	△5.1	41	410.2	40	471.3	5	356.1
2024年3月期第3四半期	1,192	12.6	8	△80.8	7	△82.2	1	△97.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	1.05	1.04
2024年3月期第3四半期	0.23	0.23

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,309	1,058	80.9
2024年3月期	1,362	1,047	76.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,058百万円 2024年3月期 1,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,791	12.4	100	56.4	98	57.6	87	46.5	18.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	4,794,200株	2024年3月期	4,778,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	－株	2024年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	4,779,515株	2024年3月期3Q	4,726,862株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安の影響等による物価高により実質所得が伸び悩み足踏み状態ながらも、各種政策の効果もあって雇用・所得環境が改善する中で緩やかな景気の回復がみられました。一方で、欧米における高い金利水準の継続、それに伴う日本との金利差による円安基調、中国における不動産市場および個人消費の停滞継続、ウクライナ問題の長期化や中東情勢のさらなる緊迫、米国の政策動向など海外の政治・経済の諸課題による影響も大きく、景気の先行きに対する不透明感が続きました。

当社は、全国に広がるドラッグストアやスーパーマーケット等の小売店における消費者購買ビッグデータを、小売企業や消費財メーカーがマーケティングに活用するためのソリューションの提供を主力事業としております。当社の事業領域はビッグデータを用いた社会構造変革や企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)というメガトレンドの追い風を受け、中長期的な成長が見込まれております。当社においてもこのような追い風を受けつつ、小売企業や消費財メーカーの顧客企業の開拓・深耕が進み、成長トレンドが継続しております。

当第3四半期累計期間においては、消費財メーカー向け主力サービスである「イーグルアイ」「ドルフィンアイ」の販売拡大に注力するとともに、小売業向けサービスである「ショッピングスキャン」に関しても、提携先も含めた販売体制を強化し新規取引先開拓のための取組みを進めました。これらの主力サービスは、クラウド上のサービス提供に対して月次課金型の使用料を受け取るビジネスモデルであり、ベースとなるストック型の安定的な収益を確保できるものです。

加えて、さらなる販路の拡大やサービスの拡充を強力に推進するため、伊藤忠商事株式会社との食品業界のデータ活用推進に向けた資本業務提携契約や、物流ロス削減・事業者DX推進に向けた東京海上スマートモビリティ株式会社との業務提携に向けた基本合意を締結いたしました。

また、前期に受注した取引先へのサービス導入を実施し、新たな取引先の受注を複数社獲得したことに加え、ウエルシア薬局株式会社からAI販促ソリューションを含む大型案件の受注を獲得しました。大型案件はサービス導入までに一定期間を要することから、売上への貢献は当期第4四半期以降から開始となる見通しです。

このように安定的な収益につながる売上を積み上げ、販路拡大およびサービスの拡充を図る一方で、並行して収益性の低い案件の見直しを推進しました。この取組みにより、当第3四半期累計期間において売上高は減収となったものの、利益体質の強化を進めました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,132,042千円(前年同四半期比5.1%減)、営業利益41,678千円(前年同四半期比410.2%増)、経常利益は40,915千円(前年同四半期比471.3%増)、四半期純利益は5,011千円(前年同四半期比356.1%増)となりました。

なお、当社は、データマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ53,444千円減少し1,309,127千円となりました。流動資産は、前払費用の減少や売上代金の回収による売掛金の減少のため、1,086,045千円と前事業年度末に比べ66,224千円減少しました。固定資産は、ソフトウェアの減価償却が進んだものの、ソフトウェアの取得により無形固定資産が増加したため、223,082千円と前事業年度末に比べ14,664千円増加しました。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ64,146千円減少し250,439千円となりました。流動負債は、買掛金や契約負債の減少により、246,628千円と前事業年度末に比べ58,692千円減少しました。固定負債は、主に「オンプレミスからクラウドへの構造転換」の推進による新基幹システム開発に要した長期借入金の返済が進み、3,811千円と前事業年度末に比べ5,453千円減少しました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ10,701千円増加し1,058,688千円となりました。これは主に、ストックオプション行使により資本金等が5,690千円増加したことに加え、四半期純利益の計上により利益剰余金が5,011千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	937,529	925,733
売掛金	159,227	124,109
前払費用	47,210	25,954
その他	8,302	10,248
流動資産合計	1,152,269	1,086,045
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	7,448	6,356
工具、器具及び備品 (純額)	13,396	19,692
建設仮勘定	1,361	799
有形固定資産合計	22,206	26,848
無形固定資産		
ソフトウェア	49,546	62,952
ソフトウェア仮勘定	33,668	61,493
その他	343	2,044
無形固定資産合計	83,558	126,489
投資その他の資産		
投資有価証券	33,820	7,485
出資金	25,000	25,000
繰延税金資産	29,382	22,263
その他	14,449	14,996
投資その他の資産合計	102,652	69,744
固定資産合計	208,418	223,082
繰延資産		
株式交付費	1,885	-
繰延資産合計	1,885	-
資産合計	1,362,572	1,309,127

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,146	41,096
短期借入金	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	29,800	12,510
未払金	17,391	14,226
未払費用	19,594	22,919
未払法人税等	7,085	5,833
未払消費税等	14,774	15,077
契約負債	115,635	73,124
賞与引当金	17,708	12,143
その他	27,184	39,697
流動負債合計	305,320	246,628
固定負債		
長期借入金	5,480	-
資産除去債務	3,784	3,811
固定負債合計	9,264	3,811
負債合計	314,585	250,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,360,679	1,363,524
資本剰余金		
資本準備金	200,169	203,014
資本剰余金合計	200,169	203,014
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△512,860	△507,849
利益剰余金合計	△512,860	△507,849
株主資本合計	1,047,987	1,058,688
純資産合計	1,047,987	1,058,688
負債純資産合計	1,362,572	1,309,127

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,192,359	1,132,042
売上原価	522,539	473,880
売上総利益	669,819	658,161
販売費及び一般管理費	661,651	616,482
営業利益	8,168	41,678
営業外収益		
受取利息	4	88
為替差益	0	0
雑収入	1,253	1,097
営業外収益合計	1,258	1,185
営業外費用		
支払利息	144	63
株式交付費償却	2,120	1,885
営業外費用合計	2,265	1,948
経常利益	7,161	40,915
特別損失		
投資有価証券評価損	-	26,335
特別損失合計	-	26,335
税引前四半期純利益	7,161	14,580
法人税、住民税及び事業税	2,450	2,450
法人税等調整額	3,612	7,119
法人税等合計	6,062	9,569
四半期純利益	1,098	5,011

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、データマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	49,451千円	32,089千円